

新年度予算

平

成 30 年度一般会計当初予算は、第 2 次総合計画の初年度として編成しました。
これまで整備した施設を有効活用するとともに、ソフト事業の一層の充実を図りながら、
「北アルプスに育まれ共に響き合う 田園産業都市 安曇野」の創生に向け、各事業に取り組みます。



市議会は 3 月 19 日、平成 30 年度当初予算案を可決しました。

一般会計の予算額は

402 億 7 千万円

昨年より 11 億円、2.7% 減額。

歳入

市 税は、116 億 7 千万円を計上しました。前年度比で、95.22 万円の増額を見込んでいます。

個人市民税や法人市民税は、経済の緩やかな拡大基調を反映し、増額を見込みました。一方、固定資産税は評価替えが実施されること、また、市たばこ税は、税率の低い加熱式たばこへの急速な移行などに伴い、減額を見込んでいます。

地方交付税は、100 億円を計上しました。地方財政対策や合併算定替えの割落などにより、前年度比で 5 千万円の減額を見込んでいます。

基金繰入金は、20 億 8 千 9 百 7 万円を計上しました。内訳は、財政調整基金 5 億 6 千 7 百 7 万円、公共施設整備基金 8 億 5 千 0 百 0 万円、また、地域振興基金 1 億 3 千 3 百 6 万円、ふるさと寄附基金 2 億 3 千 8 百 0 万円、入学金準備金貸付基金 2 億 6 千 0 万円の繰り入れなどです。

市債は、51 億 6 千 7 百 4 0 万円を計上しました。前年度比で 2 億 1 千 7 百 4 0 万円、4.0% の減額となっています。

内訳は、たつみ、明科南認定こども園建設事業等で 8 億 5 千 7 百 9 0 万円、新総合体育館建設事業で 1 億 4 千 2 百 3 0 万円、しゃくなげの湯周辺整備事業で 1 億 1 千 7 百 1 0 万円などです。

また、臨時財政対策債は 15 億円で前年度比で 5 千 0 百 0 万円の減額です。

歳出

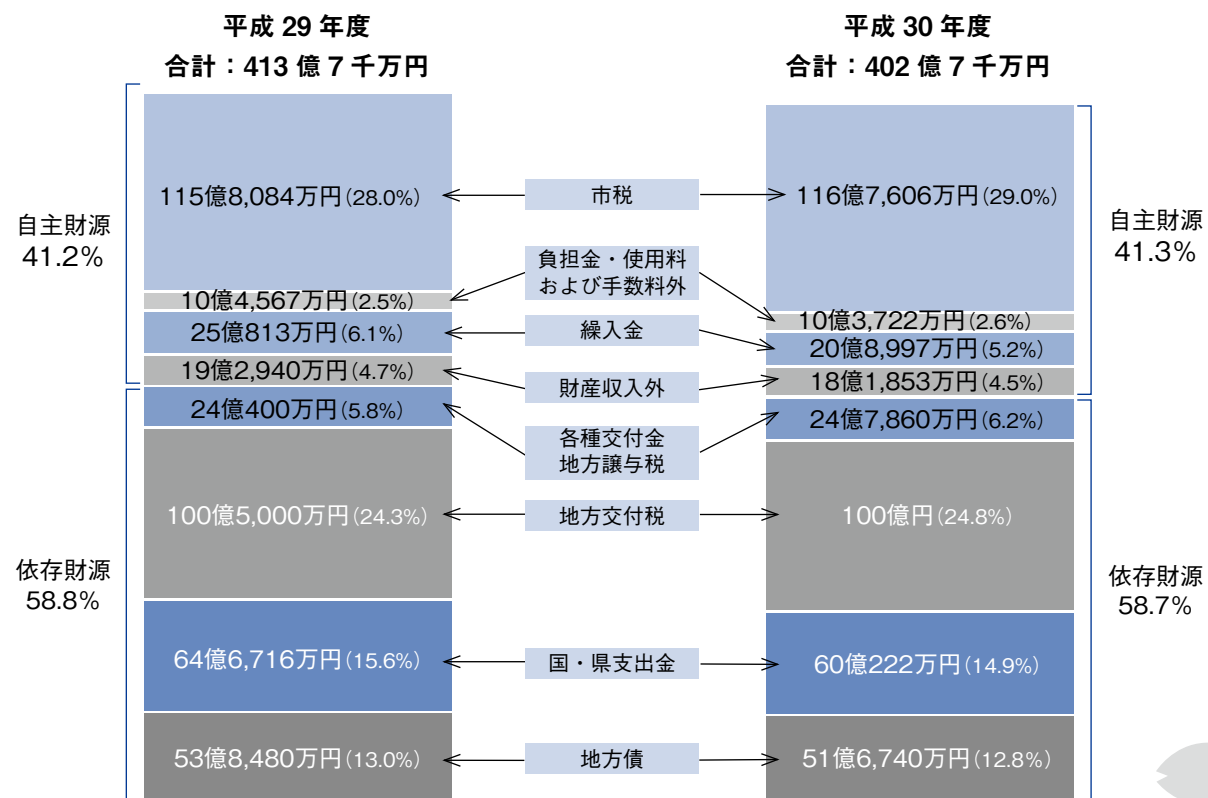
一般会計の歳出は、性質別および目的別のグラフを次ページに示しました。主な内容は次のとおりです。

● 性質別にみる歳出

人件費 (57 億 7 千 9 百 1 1 万円)

人件費は、前年度比で、5 億 8 千 3 百 2 万円の減額となりました。特別職を含む職員給料、手当、共済等の減額、議会改選後の定数減に伴う議員報酬・手当の減額などです。

歳入予算の増減



平成 30 年度安曇野市各会計予算額一覧

単位：千円

会 計 名	平成 30 年度	平成 29 年度	対前年度比	対前年度 比率 %
一般会計	40,270,000	41,370,000	△ 1,100,000	△ 2.7
特別会計	20,847,895	22,414,357	△ 1,566,462	△ 7.0
国民健康保険	10,470,426	12,217,500	△ 1,747,074	△ 14.3
後期高齢者医療	1,134,360	1,039,600	94,760	9.1
介護保険	9,215,417	9,053,828	161,589	1.8
上川手山林財産区	2,143	2,514	△ 371	△ 14.8
北の沢山林財産区	951	821	130	15.8
有明山林財産区	953	1,143	△ 190	△ 16.6
富士尾沢山林財産区	771	964	△ 193	△ 20.0
穂高山林財産区	935	1,482	△ 547	△ 36.9
産業団地造成事業	1,153	80,301	△ 79,148	△ 98.6
観光宿泊施設	20,786	16,204	4,582	28.3
総 計 (一般会計+特別会計)	61,117,895	63,784,357	△ 2,666,462	△ 4.2

公営企業会計				
水道事業会計	収益的收入	2,323,907	2,336,825	△ 12,918
	収益的支出	1,879,690	2,009,851	△ 130,161
	資本的收入	516,198	242,193	274,005
	資本的支出	1,914,314	1,581,868	332,446
下水道事業会計	収益的收入	4,449,012	4,029,779	419,233
	収益的支出	3,786,869	3,895,290	△ 108,421
	資本的收入	811,229	1,070,593	△ 259,364
	資本的支出	2,448,611	2,549,176	△ 100,565